

【オプトアウト文書】

＜臨床研究の御案内＞

『LOCOBOT®（ロコボット）を用いた脳卒中患者に対するリハビリテーションプログラムの検討－身体機能面、高次脳機能面における訓練効果に関して－』

研究所属部署：リハビリテーション科、リハビリテーション療法部

研究担当責任者：迫田 京佳、原口 真理士、岩丸 靖志、河野 寛一

研究目的：当院回復期病棟に入院された脳卒中の患者様を対象に、LOCOBOT を用いた楽しみながら実施できるリハビリテーションのプログラムを考案し、患者様の身体機能面や高次脳機能面の更なる向上を目指すことを目的としています。LOCOBOT は宮崎大学バイオメカニクス研究室および宮崎大学医学部整形外科にて共同開発・製品化された球体ロボットです。荷重センサが内蔵された「ボード」の上で身体を動かすと「ロボット」がそれに合わせて前後左右斜めに自在に動くというもので、姿勢制御・バランス能力などの運動機能の向上を図ることをコンセプトとされています。医療分野では変形性股関節症による人工股関節全置換術の術後において、両側荷重の早期獲得やバランス面の向上という臨床研究結果が得られています。楽しみながら身体機能面を向上させるという点で近年介護の現場や療養の現場においても使用されています。

期間：2026 年 4 月から 2027 年 3 月

本研究は潤和会記念病院倫理委員会により承認された前向き研究です。各患者様には事前にリハビリテーション内容のご説明・同意を頂き、各患者様の情報は匿名化して分からなくします。また本研究にご自身の情報を利用されたくないお考えの方は以下にお申し出ください。ただし、多数例の解析が終了した後にはご希望に添えない場合があります。

＜お問い合わせ先＞

平日 9 時～7 時

リハビリテーション科 医師 迫田 京佳、河野 寛一

電話 0570-00-4755